

令和2年5月18日

令和2年第2回神奈川県議会定例会

厚生常任委員会報告資料

健康医療局

目 次

ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症について..... 1

1 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症について、これまでの対応状況等を報告する。

(1) 国内外の発生状況

ア 国外の発生状況

5月13日0時時点で、日本を含む世界各国・地域における感染者は、4,212,636名となっている。

イ 国内の発生状況

5月13日0時時点で、国内における感染者は、クルーズ船における感染者等を除き、16,024名となっている。

ウ 県内の発生状況

5月13日時点で、県内における感染者は、クルーズ船における感染者等を除き、1,203名となっている。

参考：県内の症状別の発生状況（5月13日現在）

陽性者数（*）								
	退院等	入院				宿泊施設療養	自宅療養	死亡
		重症	中等症	軽症・無症状				
1,203名	770名	197名	34名	107名	56名	51名	123名	62名

- ※ チャーター機帰国者、クルーズ船乗客等は含まれていない。
- ※ 「軽症・無症状の入院」は高齢者・基礎疾患のある人・妊婦などを含む。
- ※ 「退院」は療養期間終了を含む。

(2) 医療提供体制の整備等

感染者への確かな医療を提供するとともに、感染のまん延を防ぐため、医療提供体制や検査体制の整備及び医療物資の確保等を図った。

また、県民の不安を軽減し、感染の疑いのある方を確実に医療機関につなぐため、新型コロナウイルス感染症に関する広報や相談対応を行った。

ア 医療提供体制

新型コロナウイルス感染症患者のオーバーシュート(爆発的患者増加)による医療崩壊を防ぐため、感染拡大を見据えた新たな医療提供体制を構築した。

4月中旬以降、県内の感染状況が移行期である「フェーズ1」となったことから、地域との連携・協力をさらに進める体制を整備した。

- (ア) 移行期・まん延期の緊急医療体制「神奈川モデル・ハイブリッド版」
- ・ 入院が必要となる患者の多くを占める中等症の患者を集中的に受け入れる「重点医療機関」を設定し、病床を確実に確保するとともに、疑似症の患者の受入などにより、重点医療機関を支援する重点医療機関協力病院を整備する。
 - ・ 重症者に対しては、救命救急センター等の高度医療を提供できる医療機関で治療体制を確保する。
 - ・ 軽症や症状のない方については、宿泊施設等や自宅での安静・療養をお願いする。
 - ・ 外来診療や検査のキャパシティを拡大するため地域の実情に応じて医師会等の関係団体と連携し、地域外来・検査センターの設置を進める。

(イ) 整備状況（5月15日現在）

a 入院医療提供体制

重症者に対応する高度医療機関や、中等症に対応する重点医療機関（約1,200床）・重点医療機関協力病院を確保した。

b 軽症・無症状者向けの宿泊施設等

軽症者、無症状の方に療養いただく宿泊療養施設を約2,300室確保した。

c 地域外来・検査センター

市町村や医師会・病院協会などの関係団体と連携し、県内13箇所地域外来・検査センター等を設置した。

d 精神科コロナ重点医療機関

一般の医療機関では対応が難しい、精神疾患の症状が重く、かつ新型コロナウイルス感染症に感染した方に適切な医療を提供するため、精神科コロナ重点医療機関を設置した。

e 小児コロナ受入医療機関

広域のブロックごとに拠点医療機関を位置付け、ブロック内の医療機関が連携して子どもの新型コロナウイルス患者に対応する。

イ 検査体制

県衛生研究所に検査機器等を導入し、検査体制の強化を図るとともに、さらなる感染拡大に対応できるよう、民間の検査機関等も含め、検査体制の拡充に努めている。

ウ 医療物資等の確保

個人用防護具（PPE）や消毒薬等について、国の調達スキーム等を活用し、県内医療機関や医療関係団体等へ配布した。

エ 県民への広報・相談対応等

(ア) 県民への呼びかけ

感染拡大の防止を図るため、「密閉」「密集」「密接」を避けて行動することや、不要不急の外出を控えることなどを県民に要請するとともに、また、1都4県の知事や県内の主要な首長との連名で、感染拡大防止に向けたメッセージの発出等を行った。

(イ) 県民への広報

ホームページの特設サイト「新型コロナウイルス感染症対策サイト」などを通じて、予防法、患者の発生状況、感染を疑う場合の対応、専門ダイヤルや帰国者・接触者相談センター等の各種窓口、医療機関の状況など、総合的な情報発信に努めている。

(ウ) 相談対応等

a 神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル

県民からの相談や問い合わせ等に対応するため、1月25日から専用ダイヤルを設置した。【5月13日までの相談件数】延べ35,091件

b 帰国者・接触者相談センター

感染の疑いのある方を、診療体制等の整った医療機関に確実につなぐための調整を行う「帰国者・接触者相談センター」を、2月10日に県内8か所の県保健福祉事務所・センターに設置するとともに、3月1日から県庁内にも設置して24時間化を図った。

【5月13日までの相談件数】延べ96,389件(保健所設置市含む)

c 個別相談「新型コロナ対策パーソナルサポート」

LINEを活用して、個人の状態(体調や年齢、持病の有無等)に合わせた情報提供や、適切な相談先などを案内するサービスを、3月5日から開始した。

【5月13日までの登録者数】約672,920人

別紙 1

新型コロナウイルス感染症の発生状況

1 国外

	国・地域	感染者数	死亡者数
1	アメリカ	1,369,314	82,340
2	ロシア	231,912	2,112
3	スペイン	228,030	26,920
4	イギリス	226,463	32,692
5	イタリア	221,216	30,911
6	ブラジル	177,602	12,404

	国・地域	感染者数	死亡者数
7	ドイツ	173,171	7,738
8	トルコ	141,475	3,894
9	フランス	140,227	26,991
10	イラン	110,767	6,733

～

32	日本	16,024	668
合 計		4,212,636	290,463

(5月13日0時現在 厚生労働省発表)

2 国内の発生状況(PCR検査陽性者の多い10都道府県を抜粋)

都道府県	PCR検査陽性者	死亡者数
東京都	4,897	196
大阪府	1,750	61
神奈川県	1,193	57
埼玉県	970	43
北海道	966	62

都道府県	PCR検査陽性者	死亡者数
千葉県	885	40
兵庫県	694	34
福岡県	655	24
愛知県	495	34
京都府	352	13
合 計	15,824	668

(5月13日0時現在 厚生労働省発表)

※空港検疫等は含めていない。

3 県内の発生状況(5月13日現在)

(1) 年代別

10歳未満	14名
10代	25名
20代	174名
30代	190名
40代	200名
50代	213名

60代	150名
70代	121名
80代	85名
90代	25名
100歳以上	1名
非公表	5名
合 計	1,203名

(2) 居住地別

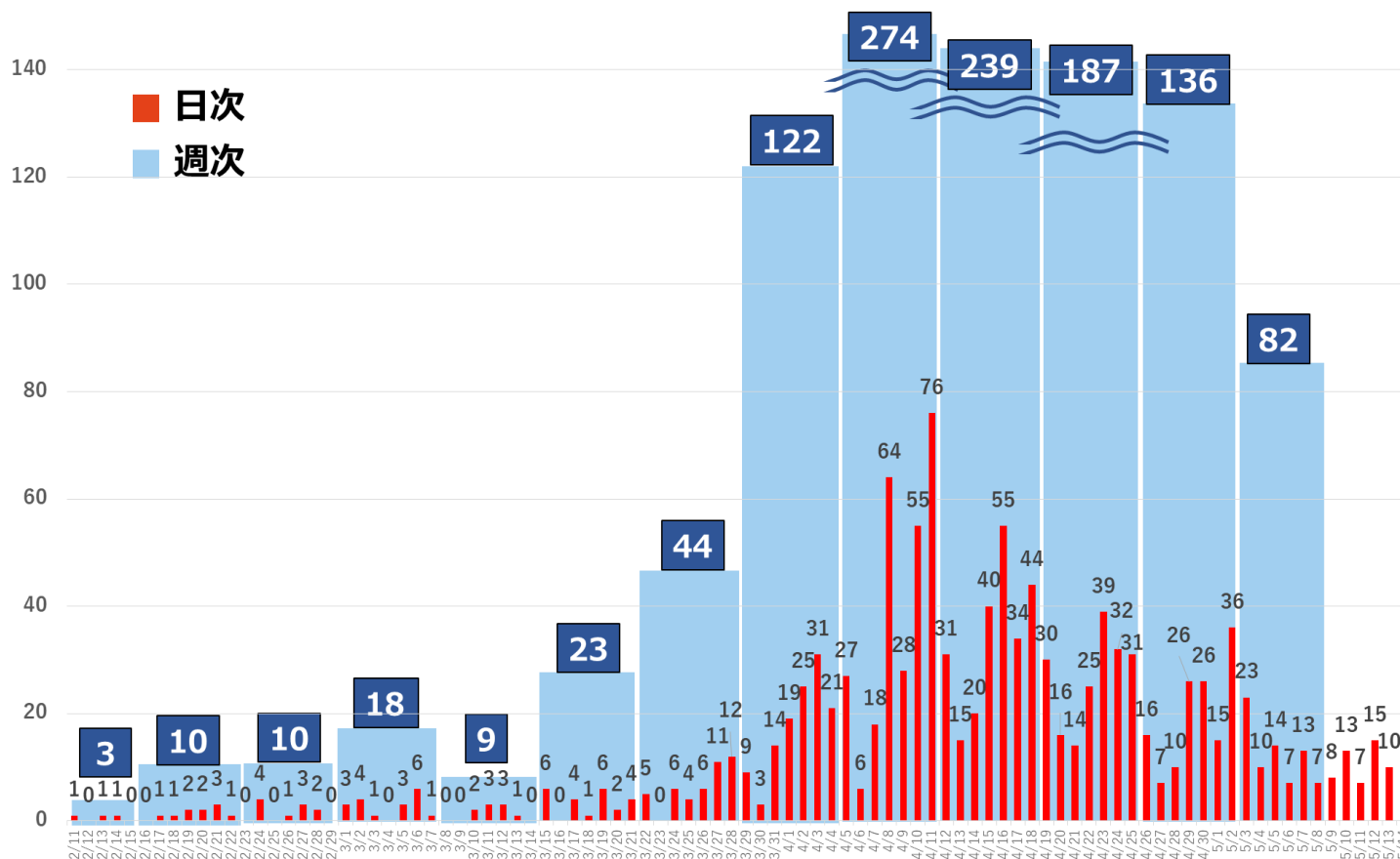
保健所 設置市 発表分	横浜市	川崎市	相模原市			
	465	259	77			
横須賀市	藤沢市 (※1)	茅ヶ崎市 (※2)	寒川町			
	45	54	24	2		
県所 管 域 発 表 分	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	鎌倉市
	11	1	6	0	24	39
	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市	秦野市
	6	40	1	3	6	12
	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市
	18	35	5	14	8	6
	綾瀬市	葉山町	寒川町	大磯町	二宮町	中井町
	9	3	0	2	5	0
	大井町	松田町	山北町	開成町	箱根町	真鶴町
	0	0	0	3	2	1
湯河原町	愛川町	清川村	その他			
7	7	0	3			

合計
1,203

※1 藤沢市公表 56 例のうち 2 例は県公表分。

※2 茅ヶ崎市公表 27 例(寒川町 2 件含む) のうち 1 例は県公表分。

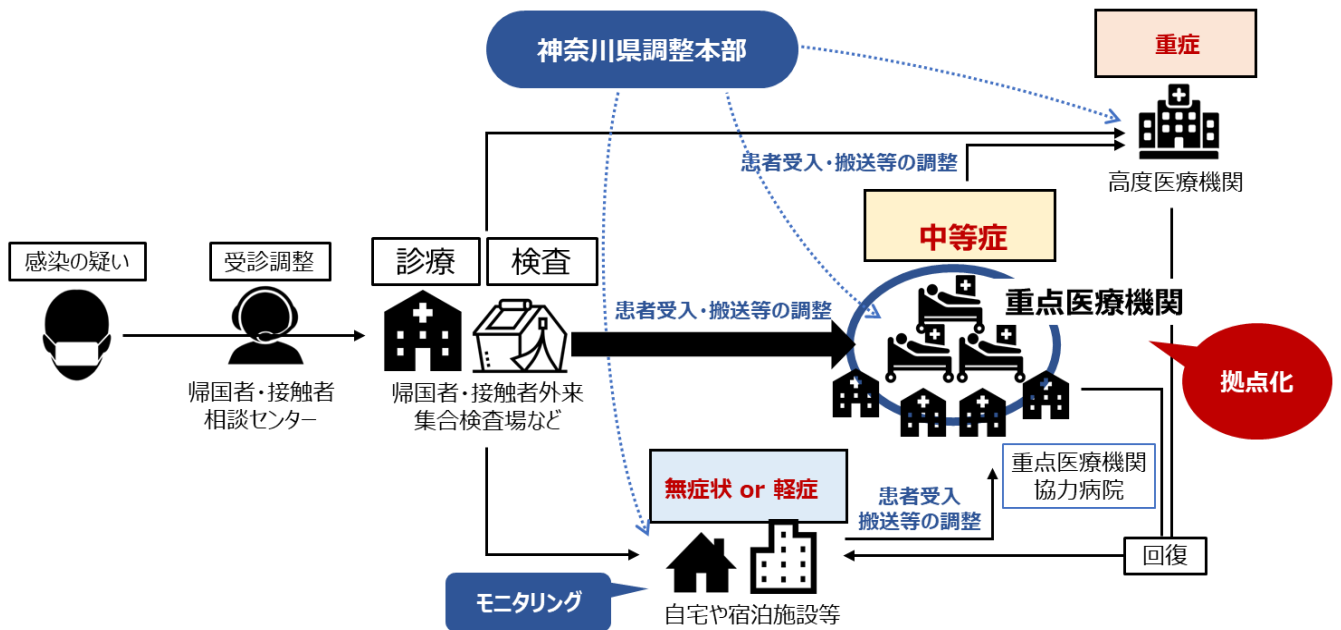
(3) 日別発生状況



別紙 2

神奈川モデル・ハイブリッド版の整備状況

1 神奈川モデル・ハイブリッド版の概要



2 重点医療機関の整備状況 (名称公表施設)

- ① 県立循環器呼吸器病センター (横浜市金沢区)
 - ② 県立足柄上病院 (足柄上郡松田町)
 - ③ 国立病院機構相模原病院、(相模原市南区)
 - ④ 川崎市立井田病院 (川崎市中原区)
 - ⑤ 川崎市立多摩病院 (川崎市多摩区)
 - ⑥ 川崎市立川崎病院 (川崎市川崎区)
 - ⑦ 厚木市立病院 (厚木市)
 - ⑧ 横須賀市立市民病院 (横須賀市)
 - ⑨ 東海大学医学部附属大磯病院 (大磯町)
 - ⑩ 海老名総合病院東館 (海老名市)
 - ⑪ 相模原協同病院 (相模原市緑区)
 - ⑫ 湘南藤沢徳洲会病院 (藤沢市)
 - ⑬ 臨時の医療施設 (鎌倉市湘南ヘルスイノベーションパーク内)
- ※ 5月中旬から 39 床で受入予定、7月上旬に全 180 床が稼働予定

3 軽症・無症状者向けの宿泊施設等

- ① 湘南国際村センター (葉山町)
- ② アパホテル&リゾート横浜ベイタワー (横浜市中区)
- ③ 横浜市立市民病院 (横浜市保土ヶ谷区)
- ④ 旧北里大学東病院看護師寮 (相模原市緑区)

4 地域外来・検査センター

	開設地域	開始時期	方式
①	横浜市	4月27日	ドライブスルー方式
②	横浜市	4月28日	ドライブスルー方式
③	川崎市	5月11日	ウォークスルー方式
④	川崎市	5月11日	ウォークスルー方式
⑤	川崎市	5月12日	ウォークスルー方式
⑥	横須賀市	4月24日	ウォークスルー方式
⑦	藤沢市	4月27日	ドライブスルー方式
⑧	茅ヶ崎市・寒川町	4月22日	ドライブスルー方式
⑨	平塚市	5月11日	ドライブスルー方式
⑩	厚木市・愛川町・清川村	5月1日	ドライブスルー方式
⑪	海老名市	5月1日	地域外来
		5月2日	ドライブスルー方式
⑫	大和市	4月28日	検査ボックス活用
⑬	足柄上郡	5月13日	ドライブスルー方式

5 精神科コロナ重点医療機関

- ①神奈川県立精神医療センター（横浜市港南区）
- ②臨時の医療施設（鎌倉市湘南ヘルスイノベーションパーク内）

6 小児コロナ受入医療機関（拠点医療機関）

- ①昭和大学横浜市北部病院（横浜北部）
- ②横浜市立大学附属市民総合医療センター（横浜南部）
- ③聖マリアンナ医科大学病院（川崎）
- ④横須賀市立うわまち病院（横須賀・三浦）
- ⑤藤沢市民病院（東湘・西湘）
- ⑥北里大学病院（相模原・県央）
- ⑦東海大学医学部付属病院（伊勢原・秦野）

※重点医療機関、軽症無症状者向けの宿泊施設、地域外来・検査センター等の整備状況は5月15日時点であり、今後も順次拡大予定。